

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-38 施設整備事業(汚水)					ザイムスコード及び個別事業名		
	□支援部門					541	未設置汚水ます設置事業	
主管課	下水道課		関連課 道水路管理課、道路整備課、河川課			542	事業計画変更認可等業務	
分野名	下水道課・河川							
目標 (目標値)	現事業認可区域内の完全整備、水洗化普及促進を図る。 21年度末目標整備率100%							
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考				
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯					
	処理人口	171,024人	170,233人					
運営資源 状況	決算値	50,539千円	86,270千円					
	(国・県)	46千円	14,067千円		指標と評価			
	(負担金等)	18,455千円	57,818千円		指標	汚水管渠整備率(面積)		
	(一般財源)	32,038千円	14,385千円		評価	○		
	人員配置数	5.6人	6.5人		◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退			
	人件費	49,639千円	58,170千円			目標値	実績値	
	協働の パートナー							
事務事業 運営経費	総事業費	100,178千円	144,440千円		20年度	100	99.3	
	市民1人当 りの経費	567円	818円		21年度	100	99.4	
	対象者1人 当りの経費	586円	848円		22年度	100		
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名	横浜市	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	23年度	100	
	人口(千人)	3606.0	176.7	402.3	234.4	最終年度 (年度)	100	
	処理人口(千人)	3597.3	170.2	378.9	223.1			
	率	99.8	96.4	94.2	95.2			
							H20度末普及率	
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・開発行為(許可)以外で敷地分割した土地に、公共汚水ますを公費で年間約100件設置していた。 ・市街化区域内の汚水管渠整備は概ね完了したが、未整備箇所では、道路境界の未確定や民有地 を借地して下水道を整備する箇所は、土地関係者との交渉に時間がかかり計画的な予算執行が困 難になっている。						
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・平成20年7月1日から改正施行した「鎌倉市公共汚水ます等の設置位置等に関する基準」に伴い、 施行後敷地分割した土地は自費施工としたことで、公共汚水ます設置委託業務は、前年度より金 額、件数ともに約60%減となった。 ・道路境界の未確定箇所は、道水路管理課へ査定依頼をするとともに、土地所有者には工事施工承 諾の交渉を継続して行い、借地等についても土地所有者の理解を得るため協議を行った。						
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・公共汚水ますが無い土地がまだあるため、そのまま宅地として利用される場合は公費で設置する 必要がある。 ・市街化区域の課題解決について土地所有者の協力と理解が必要であることから、解決には時間か かっている。						
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・公共汚水ます設置業務委託については、発注方法等を含め、実態に即した対応が取れるように検 討する。 ・市街化区域の汚水管渠の整備については、引き続き土地所有者の理解を得て100%整備に向け 努力する。						
一次評価(課長評価)					二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了								
評価結果	改善の必要性	市街化区域の汚水管渠の整備につ いては、地権者等の理解を得なが ら、問題を解決していく。			評価結果	改善の必要性	市街化区域内の汚水管渠整備は、 用地問題等を解決し早期に完了を 目指す。	
B	有				B	有		
課長名	下水道課長 大坪 隆、課長代理 宮崎 隆				部名・部長名	都市整備部長 山内 廣行		